

高島秋帆の鑄造製青銅臼砲

日本銃砲史学会 中江秀雄

蘭学館図録¹⁾によると、図1に示したわが国最初の鑄造青銅臼砲(モルチール砲)は「1935(昭和10)年、武雄鍋島家邸内(現在の武雄市文化会館)で、大砲18門と多数の小銃・刀剣が発掘されましたものの1つである。これらは、1874(明治7)年の佐賀の役の後、政府から疑われないように隠した武器だと考えられている。これらは第二次世界大戦の終わりに再び埋められ、昭和36年に、モルチール砲・試薬臼砲・ボンベン野戦砲の3門があらためて掘り出されました。」とある。これが本題の臼砲(モルチール砲)で、高島秋帆の銘があり、高島秋帆によって鑄造されたわが国最初の青銅製の臼砲とされている。

この砲の砲尾部の上面にオランダ語で図2のような刻印がある。このオランダ語は『1835年に初めて日本で鑄造された』、と記されている²⁾。当時の鑄造技術がオランダに依存したことを示す証拠ともいえる。また、砲頭部の表面には武雄鍋島家の抱銀杏の家紋が付けられている。



図1 わが国最初の鑄造青銅臼砲



図2 砲の上面に刻まれたオランダ語

このオランダ語の刻印の裏側には図3に示す漢文の刻印もある。ここには高島親子の名が記されている。これは「皇国莫兒氏兒開基 高島四郎兵衛源茂紀 高島四郎太夫源茂敦 日本砲術家従来未知放之 造之 天保6年 乙未 7月 令鑄法門人嶋安宗八 鑄之」とある^{2,3)}。高島四郎兵衛源茂紀は高島秋帆の父親で、高島四郎太夫源茂敦は高島秋帆である。したがって、この砲は高島秋帆の命令で天保6(1835)年に嶋安宗八により鑄造されたことがわかる。

高島四郎兵衛は長崎の町年寄りで、出島台場の担当であった。四郎兵衛は奉行指揮下で市中行政と貿易会所運営などに当たり、貿易利潤に預かり、大名並みの屋敷を構えていた⁴⁾。そのため、秋帆はオランダ商館長から西洋砲術を学び、和流をも加味した高島流砲術を開き、世評を得ていた。さらには、秋帆は図1に示した日本最初の青銅製の洋式臼砲(モルチール砲)を1835(天保6)年に鑄造し、これを佐賀藩武雄に寄贈した。

この砲の砲弾を製造するに用いられたと思われる鑄型が19世紀後半に、長崎市万才町遺跡出土(現物は長崎市保管)から出土した。その全貌を図4に示す⁴⁾。

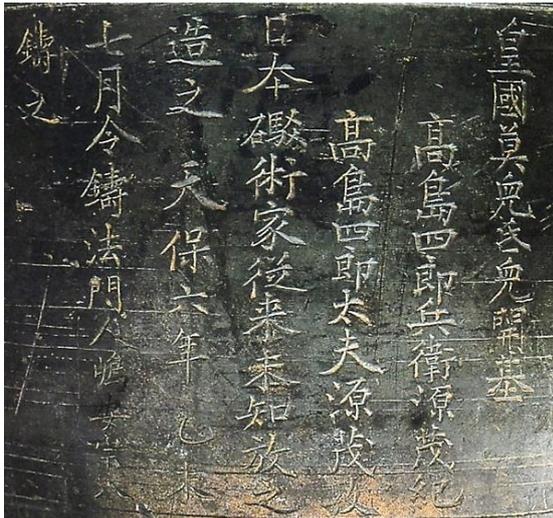


図3 裏面の漢文銘^{2,3)}



図4 ボンベン弾鋳型(複製) 板橋区郷土資料館⁴⁾

図5は図4の鋳型にボンベン形茶釜{1865(慶応元年)年 高島秋帆清玩⁴⁾、松月院蔵}を組み合わせてみた様子を示した。この鋳型にボンベン弾(内部に火薬を充填した砲弾)を模った砲丸形鉄釜がぴったりと入ることがわかる。茶釜の「表には『報国芹誠』、裏には『乙丑小春、七秩翁、高島秋帆清玩』と見える。」とある⁴⁾。「慶応元年に再度高島秋帆の古希を祝って製作されたものである。」とされている⁴⁾。

ペリーの来航やアヘン戦争などについては、徳川幕府は長崎出島のオランダ領事館を通じて情報を事前に入手しており、国防の強化に舵をきっていた。すなわち、軍艦の輸入であり、大砲の製造・輸入である。ペリーの来航は機密でも何でもなかったのである。国防の動きの一つに、1841(天保12)年の高島秋帆による徳丸ヶ原(現在の高島平)での西洋銃陣演習がある。ここでも臼砲を用い、西洋式の砲撃訓練を行っている⁵⁾。この様な経緯で、高島秋帆はわが国砲術の祖とも呼ばれている。

伊豆韮山の江川太郎左衛門や、幕臣で西洋砲術家であった下曾根信敦も秋帆の弟子にあたる。秋帆は彼らに洋式砲術を伝授し、これは更にその門人へと広まり、高島流砲術と呼ばれるようになった。現在の高島平(旧:徳丸原)の名称も先に述べた高島秋帆の調練に由来している。

高島秋帆の顕彰碑が我が家の近くにある(図6)。これは1857(安政4)年に鑄造された青銅製24斤加農砲を碑心に、火焰砲弾4発を配したものである。この碑は加農砲を大理石製の台座に載せた特異な形をとっており、砲術に長けた高島秋帆を象徴するもので、総高は6メートルもある。砲には「火技中興洋兵開祖」という文字が鑄出して刻まれている。正確には、この文字は陸軍が1922(大正11)年の顕彰碑建立に合わせて、川口の鑄物師増田に注文して作成させた碑文銘を貼りつけたものである。いずれにして



図5 砲丸形鉄釜(ボンベン型茶釜ともいう)と図4の鋳型との組み合

も、高島秋帆がわが国大砲の祖であることを示す、誠に印象に残る顕彰碑である。

参考文献

- 1) 武雄市図書館・歴史資料館：蘭学館図録（2000年）19,20
- 2) 武雄市図書館・歴史資料館：武雄の時代・西洋砲術導入の軌跡（2012年）31
- 3) 武雄市図書館・歴史資料館：日本を動かす！ 武雄鍋島家洋学資料（2014年）22
- 4) 板橋区立郷土資料館：高島平蘭学事始（2012）46,83
- 5) 板橋区立郷土資料館：高島秋帆 西洋砲術家の生涯と徳丸原（1994）24



図 6 松月院の高島秋帆の顕彰碑